

報告書

団 体 名	一般社団法人あんだんて
活 動 名	新白河異文化祭り
活 動 目 的	地域在住の外国人（留学生、研修生、定住者等）との交流を通し、多文化共生社会を構築すると共に、隣に住む外国人と友達になる運動を進める。
活 動 内 容	<p>① 日時：平成31年3月10日</p> <p>② 場所：新白河国際教育学院（西郷村字道南西14-1）</p> <p>③ 後援・協力団体名：(公財) 立教志塾、西郷村、西郷村教育委員会、 白河市国際交流協会</p> <p>④ 参加者及びその人数：外国人留学生、研修生、定住者及び一般日本人、約200名</p> <p>⑤ スタッフ人数：20名</p> <p>⑥ 具体的な活動内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生（ネパール、ベトナム、バングラデシュ）によるPPTでのお国自慢発表 ・アジア人のファッションショー（中国、タイ、ネパール、ベトナム） ・世界の料理の試食会（中国、タイ、ネパール、ベトナム） ・留学生に聞くと分かるクイズラリー ・モンゴル人による馬頭琴演奏とホーミー ・講演会「隣の外国人と友達になるには ー日本語教育実践者からー」 講師：樋口万喜子氏（横浜国立大学講師）
活 動 の 成 果	<p>白河市や西郷村でもここ数年外国人の姿を頻繁に見かけるようになったが、そういった外国人とは、直接会話をしたことがなかったという年配の方々も会場に来て初めて外国人と話したそうで、みんな流暢な日本語で自分の国を紹介してくれたので親近感を感じられてよかったと言っていた。</p> <p>お国自慢のコーナーでネパールを紹介した留学生や料理を提供したベトナム人はいつも与えてもらう側だったが、初めて与える側になって嬉しかったと言った。樋口先生の話聞いて、外国人と一緒に生活するにはまず相手を尊重することを基本にしなければならぬこと、多文化社会とは豊かな社会のことだということが分かった。</p> <p>以上のような感想が参加者からあり主催者が狙いとしていたこと以上に日本人の参加者も外国人の参加者もお互い一歩ずつ近づくことができた行事になったと思う。</p> <p>また、とにかく、白河周辺ではこういった一般人を対象とした国際交流事業は少なかったもので、外国人と共生することについての意見や接したことの経験談が聞けたことが良かった。</p>

今後の取組	<p>これからは研修生や留学生以外にも特定技能の資格で労働するアジアの若者が当該地域にも増えてくることは衆目の一致のするところだろう。そこで、そういった外国人が生活する上で地域住民との軋轢が生まれないようにするには、相互理解が不可欠である。</p> <p>そして、相互理解を促進させるためには、情報の多言語化や行政の適切な対応はもとより、地域住民や民間団体、企業とのコミュニケーション能力や異文化理解力の向上も必要なので、これからもこのような行事を継続すべきだろうと強く思う。</p> <p>特に外国人を受け入れている企業については、もっと積極的に外国人を外に連れ出したり、他の企業の外国人と交流させる等取り組んでほしい。</p> <p>異文化交流理解を目的とした事業を行う民間団体としては、その様な企業を巻き込んで共生社会づくりを行っていきたいと思う。そして、そのような事業を行う場合は企画段階から外国人を巻き込んだり、外国人のグループとコラボできればいいと思う。</p>
-------	---

